Rotary Club of YOKOHAMA MIDORI

横浜緑ロータリークラブ

2001-02 年度国際ロータリー会長
リチャード・D・キング
Mankind is our business
人類が私達の仕事

第 2590 地区ガバナー
上　野　孝
会　長 / 加藤喜夫
幹　事 / 森　一誠
会報委員長 / 河渕　雄

● 例会日 毎週水曜日
PM0：30～PM1：30
● 例会場 横浜市青葉区青葉台 1-5-8
青葉台フオーラム
● 事務所 横浜市緑区中山町２３０
(横浜銀行中山支店)
TEL (045)933-1651
FAX (045)933-2027

WEEKLY　REPORT

第 1539 回例会 No2

例　会　記　録

平成 13 年 7 月 11 日(JUL.11.2001)

✧ **司会**　斉藤清紀、鶴岡, 河原　ＳＡＡ
✧ **点鍾**　加藤喜夫 会長
✧ **合唱**　君が代　我らの生業
✧ **ゲスト** 森　節子　様 (分区代理)

日頃より私達のクラブの祖父母にあたります横浜緑RCの皆様には、ご支援と貴重なアドバイスを頂戴しまして感謝致しております。

私のような若輩者が会員の皆様のために分区代理として何ができるのか、何をしなければならないのか、思い悩みロータリーのいろいろな文献を訪ね求めていた時に次のような記事を見つけました。

私が彼と出会ったのは、十数年前のことです。私はRI理事会のメンバーで、ある日、ロータリー・オフィスビル最上階の18階に座って昼食を食べ終わろうとしていました。彼は高齢で、おそらく80代の後半か、おそらくは90歳かそれ以上だったと思います。顔には、2回の世界大戦と激動の20世紀を生き抜いてきた人物の皺が刻まれていました。彼はゆっくりと、足をひきずって歩きました。彼が部屋に入ってくるのを私は見ていました。彼は本部の若い職員に付き添われていました。彼の皺のよった顔に私は魅了されました。

私はデザートを食べ終わり、彼の隣に行って腰をおろしました。「あなたはビルの見学をなさっているのですか？」と私は尋ねました。彼は答えました、「はい、そうです。生涯ずっと、ロータリー本部を見学しに来たいと願っていたのです。」「どこから来られたのですか？」「チェコスロバキアのプラハからです。」「あなたはロータリアンですか？」彼はしばし私の顔を見つめ、彼の老齢の目は潤みました。「そう願っています。」

私は彼の答えに興味をそそられ、説明を求めました。彼はこう言いました。「リック、私は若い時にロータリーに入会しました。世紀の始めでした。その頃のプラハは美しい街でした。私たちのロータリー・クラブは素晴らしいクラブで、中心街のホテルで例会をしていました。私たちは誇りをもってロータリーの襟章を

つけ、例会でロータリー旗を掲げました。私は妻に言いました、『いつかアメリカにいって、ロータリー理念の発祥の地を見たい』と。ところが、1939年にナチスが来たのです。私たちの会員の幾人かは逮捕され、銃殺されました。クラブは解散しました。私たちはもう旗を揚げることもできず、ロータリーの襟章をつけることもできませんでした。私はもはや本当のロータリアンではなくなりました。しかし、私たちの数人は、ロータリーの精神を生き続かせるために、毎週、ほんのわずかの時間、密かに集まりました。これを6年間行いました。」

「あれは素晴らしい日でした」と彼は言いました。「1945年に連合国がやってきたのです。プラハに再びロータリー・クラブができ、私は再び本当のロータリアンになりました。旗を揚げ、襟章をつけました。ふたたび私は、いつかアメリカに行って発祥の地を見る日のことを考え始めました。」

「ところが、わずか3年後の1948年に、共産主義者が来ました。そして再び、クラブは解散しました。再び、旗を揚げることができず、ロータリーの襟章を付けることができなくなりました。そして再び、私は本当のロータリアンではなくなったのです。しかし、前と同じように、私たちの数人が密かに、毎週、ほんの短時間集まることに決めました―かつてロータリアンだったことを忘れないために。ただ今回は、密かに42年間、会合し続けたのです。」42年間！かすかな声で次にように言いながら、彼の目は再び潤みました：「もう二度と本当のロータリアンにはなれないと知っていました。ロータリーの発祥の地を見にアメリカに来る前に私は死ぬと。」

そして、彼は言いました。「でも、リック、去年奇跡が起こったんです。壁が崩れたのです。そして来年5月に、私の人生で3度目ですが、プラハ・ロータリー・クラブを結成します。そしてとうとう、私は死ぬ前に、ロータリー発祥の地を見るために、私たちの本部に来ることができました。今日は、その生涯の夢がかなった日です。

これを読んで、私達がこうして毎週例会に集うことができるのは何と言う特権ではないだろうか、と知ったのです。今ここに集っている私達は政治的な障害はありませんが、健康が与えられなければこうして来ることも出来ません。事業などがそこそこうまく回転していなければこうして来ることも出来ません。

私は、この特権を会員の皆様が十二分に活用されるよう働かせていただければ良いのだ、と勇気を得たのです。力不足な分区代理ではありますがどうぞ皆様宜しくお願い致します。皆様の手足となって働かせていただきます。

✧ 会長報告

私にとって第二回目の会長報告です。

2 にまつわるゴルフのお話です。

アルバトロスに要する打数は 2。ダブル・イーグルはパー5 のホールで第二打を直接カップインさせることです。（パー4 でのホールインワンも規定により 3 打少なくあがったことになるが、記録上は通常ホールインワンとして数える。）皆さんがよく知っているダブル・イーグルは、ジーン・サラゼンのものではないでしょうか？1953 年の第二回マスターズで記録したものです。オーガスタ・ナショナルの 15 番パー5（500 ヤード）で最終日に、ダブル・イーグルをとったサラゼンはクレイグ・ウッドとのプレイオフに持ち込み、優勝をもぎ取りました。　1895 年以来開催されている全米オープンでは、ダブル・イーグルはまだ一回しか記録されていない。　1985 年開催されたオークランドヒルズｃｃでの大会初日、2 番パー5 で台湾の陳志忠が取ったものです。皆さんの中でも、テレビで見ていた人もいるかもしれません。最終日 2 打差のトップで迎えた陳志忠は 5 番で二度打ちを含む 8 打を叩き、脱落してしまいました。結局 2 位だったのです。　距離の出る人は、アルバトロス、挑戦してみてください。

✧ 幹事報告

(1) 例会臨時変更のお知らせ

横浜南ＲＣ

7 月 28 日（土）移動例会「山翠桜」

午後 17 時　点鐘

8 月 11 日（土）休会

横浜南陵ＲＣ

7 月 12 日（木）移動例会「アービル横浜」
午後 6 時 30 分　点鐘

8 月 9 日（木）休会

横浜港北ＲＣ

8 月 2 日 ⟶ 8 月 1 日（水）移動例会
午後 6 時「レストラン　ソレイユ・ルブァン」

8 月 16 日（木）休会

神奈川旭ＲＣ

8 月 15 日（水）休会

(2)　須藤会員　ロータリークラブ定款　第七条第三節

免除ａ1 病気チクノウ症にて手術、3 週間休暇。

✧ 委員会報告その他

◆　北原　弘文　親睦委員長

（１）　11/15 千葉緑ＲＣとの合同ゴルフコンペのお知らせ（程ケ谷ｃｃ予定）

（２）　7/16（月）午後 19 時からホテル　パストラール内「クレッシェンド」にて炉辺会合開催。

◆　河渕　雄　会報委員長

手作り会報第一号発行できました。

（１）　お蔭様で内製かの会報１号を発行することができました。
但し、カラープリンターの入荷が遅れており今回は、白黒にて発行させて頂きます。

（２）　今年度から最終ページに２ヵ月分のカレンダーを搭載することに致しました。目的は従来の掲示板の代わりに利用したいと思います。

（３）　細かい点で、まだ不備があると思いますが、徐々に見よい会報に工夫してまいります。

✧ 出席報告

◆　大地　哲郎　出席委員長

会員数	本日の出席	本日の出席率	前々回の補正後出席率
36	23	85	86

✧ 欠席届

◆　山下　栄蔵　君

他の会合に出席の為。

◆　村松　勇治　君

業務の関係で欠席いたします。

✧ ニコニコＢＯＸ

◆　森　　節子　君

今日は、挨拶に伺わせていただきました。よろしくご指導ください。

◆　長根　信康　君

前回欠席しました。

◆　高嶋　経保　君

足の肉離れも治療が長引き例会長期休みました。申し訳ありません。

◆　元木　　裕　君

私どもの支店が 7/9 にリニューアルオープンいたしました。お近くお寄りの際には、お気軽にお立ち寄りください。

◆　代々木和男　君

前期役員の皆さんご苦労様でした。新役員の皆さん御健闘をご期待申し上げます。

◆　濱田　　茂　君

誕生日祝いありがとう御座います。37 歳になりました。

◆　森　　一誠　君

森分区代理ようこそ緑ロータリーへ。

◆　加藤　善夫　君

森分区代理歓迎いたします。今年一年よろしくお願いいたします。

7 月 11 日　8 件	￥２４．５００
本年度累計	￥８２．５００

五大奉仕委員長

★　市瀬　栄一　クラブ奉仕委員長

会長の方針に添い有意義な楽しい、笑いの多いクラブ作りに微力ながらクラブ奉仕委員長として努めたいと思っております。手続き要覧によりますと 10 の各クラブ奉仕委員会は各々の独立した管理運営を任されていてクラブ奉仕委員長が監督するものではないとされています。

クラブ運営に必要な 10 の委員会が活力ある活動が出来る様、理事会に計る役割を果たし、各委員長活動の裏方として協力させて頂くつもりでございますので何かありましたら遠慮なく申し付けてください。

さて、今年の会長方針は「会員増強と退会防止」を提唱されております。非常に難問でありますが、この問題を乗り越えないとロータリークラブの未来はないと言っても過言ではないと思います。ただ単に会員を増すことの前に、まず我々自身が我々のクラブを有意義な楽しいクラブと想う認識がなければ新会員を勧誘する事は出来ないでしょう。活気ある楽しいクラブにする為の具体策として

（1）　会員の奥様方にクラブの行事、例会等への参加をお願いする。

（2）　例会に出席しやすい時間帯を検討する。

（3）　何かを行う時はお互いに話し合いを行う過程を大事にする。

会員の奥様方にも積極的に参加して頂きより親密な会員関係を作ることが会員増強の第一歩と考えます。会員を減らさない様に、新しい会員が増える様にと、いたずらに規則を緩やかにしては、仲良しクラブになりロータリークラブの魅力が無くなると思います。和気あいあいの中にもロータリアンとしての威厳を保つことが必要ではないでしょうか。又、会長エレクトとして、会長としての勉強をこの一年間するつもりでおりますが、まず来期クラブを代表する立派な会長になる様、皆様方に育てて頂くきたくお願いいたします。

★　武藤　泰男　社会奉仕委員長

今期は、社会奉仕委員長を仰せつかりました。6 月 13 日に、森一誠前社会奉仕委員長が「社会奉仕委員長の心得」みたいな、すばらしいお話をされまして、後を引き継いだ私にとっては、少々戸惑っておりますが、今期は幹事しいう立場で、色々とご指導頂けるものと確信して、何とか一年間やって行こうと思っております。

活動内容につきましては、3年前から始めました「緑区民祭りでの　　［子供動物園］への協力」の打診が、緑区役所からありましたので、これに参加したいと思います。また、例年行われております、チャリティーバザーも引き続き行いたいと思います。

他には、環境保全、緑化を進めるために、地域内のどこかに植樹をやりたいと思っております。これは、できれば今期かぎりではなく、一本づつでもいいですから毎年続けて行って、徐々に緑を増やして行きたいと思います。また、地域における様々な問題、例えば、防犯、防災、交通安全、等々、警察や消防が行う各種行事に積極的に参加して、我々ロータリーアンだけでなく、地域住民にも関心を持ってもらう様、協力して行きたいと思います。

会長、幹事はじめ、会員の皆様のご協力、ご指導、宜しくお願いいたします。

★　濱田　　茂　青少年奉仕委員長

21 世紀を担う現在の青少年達に対して我々ロータリアンは何を彼らにしてやれるか。原点に立ち返り、今青少年が我々大人に対して求めているもの、希望を汲み取り、微力ながらこの１年間、出来ることから行動を起こして行きたいと考えております。

（1）　抽象論ではなく具体的に行動を。

（2）　インターアクトとのコミュニケーションを積極的にとる機会を多くする。

（3）　諸先輩会員の方々より青少年奉仕委員会のあるべき姿を教示頂き、活気ある委員会にする。

尚、早速の具体的な話として、先日緑区地域振興課の方がいらして、中学生による「職場訪問」事業実施の依頼を受けました。皆様方にこの趣旨を賛同いただき今秋より実施して参りたいとおもいますので、皆様方のご協力を頂きたく存じます。

★　藤田　孝次　職業奉仕委員長

職業奉仕の概念は、ロータリー発祥より現在までに色々と変化して参りました。時代・視点により異なった考え方が出て来るのは当然で、夫々の考え方をお互いに否定することは出来ないと思われます。ロータリーソング「奉仕の理想」「我等の生業」に歌われている中にその精神があると思われます。

即ち、あらゆる職業に携わるなかで奉仕の理想を生かしていくことをクラブ、会員個人が共に育成支援すること。又、すべての職業に係る人々の有用性と価値を認めると共に個々の職業上の論理を高めること、道徳心の維持を守りつつ自己の職業経営の安定を図ることが眞の職業奉仕であると考えます。従って、本年度は次のような活動計画を考えました。

1. 職業奉仕に有意義となるたく卓話をできるだけ会員より行う。
2. 会員企業の職場訪問。
3. 社会の下支えとなっている職業人の表彰、支援。
4. 四つのテストの復唱。奉仕に関する他の委員会との連携。

★　若松　守正　国際奉仕委員長

つつましくも着実に！

今期、国際奉仕委員長を仰せつかりました若松です。去る 5 月 20 日、地区協議会が開催され、国際奉仕について勉強させて頂きましたが、明確に理解出来たわけではありません。

「新しいこと（プロジェクト）をなにかひとつはじめよう」というのが今期の地区の方針の一つですが会員増強が困難な今日の状況の中では、一人ひとりが無理をせず自然な形で、節度を持って、これまでの活動を継続していくこともまたたいへん重要なことだと思います。

「国際理解と協力、親善・平和をより一層推進するために行動（行為）する」という国際奉仕の初心を忘れず、誠心誠意、コツコツと実践して行きたいと思います。

今期一年、目新しいことは出来ませんが、活動目標の一つひとつを「つつましくも着実に」実行してまいりますので、会員皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

＜具体的活動目標＞

1.香港南ＲＣとの姉妹関係の維持・発展。
　・香港訪問時の自発的なメーキャップの実施（公用・私用を問わない）
　・中国ライ病患者にたいする支援
2.諸外国の災害救援等に対し、自発的な活動を通して地区活動に協力する。
3.友好クラブと相互協力して、国際理解・親善・奉仕に努める。
4.他クラブとの協力及び同額補助金の活用により、発展途上国支援等、国際奉仕活動を推進する。
5.委員会内の各委員長を適宜開催し、各々の意思疎通を図りつつ、この１年間、楽しく、仲良く、意義のある活動を展開する。